

- 車内設備と喫煙車の関係（受動喫煙防止対策状況）がひと目でわかる -  
JR東海在来線特急・快速列車の編成表（2010年3月13日現在）

©作成・半沢一宣

！営利目的での無断転載を禁じます。学術研究など非営利目的で使用される場合でも、事前に作成者までご連絡ください。

\* 季節や時間帯によって、指定席の一部が自由席に（またはその逆に）変更になる列車があります。

\* 乗り込み調査データ欄の車両番号などは、原則として車いす対応座席付き車両のものを記しました。

\* 「あさぎり」（371系電車）の編成は「私鉄有料特急列車の編成表」の小田急電鉄の欄をご参照ください。

参考資料 『鉄道ジャーナル』月刊、鉄道ジャーナル社  
『JR電車編成表 '05冬号』ジェー・アール・アール

### 記号の説明

指 = 指定席	自 = 自由席	グ = グリーン車
展 = 展望席	定 = 定員制	個 = 個室（セミコンパートメント等を含む）
H = 車いす対応座席	h = 車いすスペース	M = 多目的室
B = ベビーベッド付トイレ（車いす対応）	b = ベビーベッド付トイレ（車いす非対応）	
W = ベビーベッド無トイレ（車いす対応）	w = ベビーベッド無トイレ（車いす非対応）	
O = オストメイト対応トイレ（車いす対応、現時点では該当無し）		
P = 公衆電話（車いす対応）	p = 公衆電話（車いす非対応）	
V = 飲料自動販売機（車いす対応）	v = 飲料自動販売機（車いす非対応）	
K = 売店	k = 車内販売準備室	C = 車掌室 S = 喫煙コーナー

細字	= 受動喫煙が発生していない禁煙車
ゴシック体	= 喫煙車
斜字	= 喫煙コーナーがある禁煙車（下記注を参照）
斜字	= 喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車（同上）
*印	= 増結車（連結しない列車があります）
緑色の網かけ	= 2009年6月1日から新たに「受動喫煙が発生していない禁煙車」となった車両

注：「喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車」について

2004年秋に、産業医科大学（福岡県北九州市）産業生態科学研究所の大和浩教授の研究班が、営業列車内の粉じん濃度に関する立ち入り調査を行いました。その結果、喫煙車または喫煙コーナーに隣接している禁煙車では、隣接する喫煙車などからドア開閉時に、もしくは空調装置を経由して流入するたばこ煙によって、両側を禁煙車に挟まれた禁煙車両と比べて著しく高い、厚生労働省が定めた職場の環境評価基準をオーバーする高濃度の粉じんが検出されました。このことから、本表で「ゴシック体」「斜字」「斜字」のいずれかで表現した車両は、いずれも受動喫煙を防止できていない、公衆衛生上問題がある車両であると言えます。

！JR東海では2007年3月18日のダイヤ改正の際に、列車内の公衆電話を全廃しています（新幹線およびJR西日本と共同運行の「サンライズ出雲・瀬戸」を除く）。

身延線「ふじかわ」、飯田線「伊那路」（373系3両編成）

\* 9両編成（3両×3本）で静岡～東京間の普通列車としても運転されます。また、6両編成（3両×2本）で浜松～静岡～沼津間の「ホームライナー静岡・浜松」、3両編成で大垣・名古屋～豊橋間の「ホームライナー豊橋・大垣」および米原～大垣間の普通列車としても運転されます。

\* 「ふじかわ」は富士～静岡間逆向き（静岡方が 号車、富士方が 号車）。

\* 号車の13A席（東海道本線内で海側、通路向きに回転）が車いす対応座席です。

\* 号車にはセミコンパートメントがあります（1席ずつバラ売り）。

\* 「ムーンライトながら」（夜行快速）は2009年3月のダイヤ改正で廃止されました。

乗り込み調査実施記録

2006年12月21日（木曜日）東京23時43分発「ムーンライトながら号」  
 車両番号・クハ373-10（F10編成、製造年・メーカー名は失念）

再調査実施記録

2007年10月9日（火曜日）東京23時10分発「ムーンライトながら号」  
 車両番号・クハ373-13（F13編成、1996年・日立製）

甲府（ふじかわ） 静岡  
 飯田（伊那路） 豊橋

指HB	コ自コ	コ自

中央本線「しなの」（383系）

\* 中津川・瑞浪・多治見～名古屋間の「ホームライナー中津川」「ホームライナー瑞浪」「ホームライナー多治見」としても運転されます。

\* 号車と 号車の木曽谷側に多目的室があります。

\* 号車と 号車のいずれも1D席（木曽谷の反対側）が車いす対応座席です。

乗り込み調査実施記録

2007年1月16日（火曜日）名古屋7時05分発「しなの1号」（6両編成）  
 車両番号・ 号車 = モハ383-4（A4編成、1996年・川崎重工製）

長野

名古屋・大阪

展グMB	KH指	指b	指v	自b	自

						*	*
展グMB	KH指	指b	指v	指b	指	自b	自

						*	*	*	*
展グMB	KH指	指b	指v	指b	指	グMB	KH指	自b	自

中央本線「セントラルライナー」(313系、快速列車)

\* 多治見～中津川間は全車自由席で運転されます。

(乗車整理料金不要、着席は指定席券所持者が優先)

\* 名古屋～中津川間の普通列車(全車自由席)でも運転されます。

\* 号車の2A席が車いす対応座席です(古虎溪側、肘掛け跳ね上げ式)

乗り込み調査実施記録

2007年1月16日(火曜日)名古屋10時30分発「セントラルライナー3号」  
車両番号・クハ312-8006(B206編成、2001年・日本車両製)

名古屋			中津川		
			*	*	*
指HB	指	指	指HB	指	指

関西本線、伊勢鉄道、紀勢本線「南紀」(キハ85系)

\* 四日市～名古屋間の「ホームライナー四日市」(5両編成)としても運転されます。

\* 号車の13A席(山側)と13D席(海側)が車いす対応座席で、予約制の「身体障がい者優先席」扱いとされていますが、自由席車のため、多客時には先に座っていた健常者が頑として譲らなければ、身体障がい者が車いす対応座席を利用できないおそれがあります。

乗り込み調査実施記録

2007年1月16日(火曜日)名古屋8時14分発「南紀1号」  
車両番号・キハ85-1102(1988年・富士重工製。車いす対応座席設置などのバリアフリー化改造工事の施工年・実施箇所名は不明)

紀伊勝浦		名古屋
展指w	指kv	BH自

関西本線、伊勢鉄道、紀勢本線、参宮線「みえ」(キハ75系、快速列車)

\* 号車の11・12番AB席部分(山側のボックス席)が車いすスペースにできる跳ね上げ座席になっています。

乗り込み調査実施記録

2007年1月16日(火曜日)名古屋10時30分発「みえ3号」  
車両番号・キハ75-4(1993年・日本車両製)

鳥羽・伊勢市		名古屋	
		*	*
指自hW	自	自hW	自

高山本線「ひだ」(キハ85系)

- \* 名古屋～岡崎間の「ホームライナー岡崎」、関ヶ原～名古屋間の「ホームライナー関ヶ原」、美濃太田～名古屋間の「ホームライナー太多」としても運転されます。
- \* 名古屋～岐阜間では逆向き（岐阜方が 号車、名古屋方が 号車）。
- \* 号車の13A席（高山本線内で東側）と13D席（同・西側）および 号車の13A席（同・西側）と13D席（同・東側）が車いす対応座席です。
- \* グリーン席と普通席との合造車（4両編成の 号車など）では、グリーン室と普通室との間に仕切り壁があるため、グリーン席では受動喫煙が発生していないと考えられます。
- \* 号車番号が欠番になっている車両は、多客期にのみ増結されます。

！2004年秋の台風災害のため長期運休していた飛騨古川～富山間は、2007年9月8日（土曜日）から運転を再開しました。

乗り込み調査実施記録

2007年1月16日（火曜日）名古屋8時43分発「ひだ1号」

車両番号・ 号車 = キハ84 - 1106（製造年・メーカー名は失念）

号車 = キハ85 - 1103（1990年・日本車両製。車いす対応座席設置などのバリアフリー化改造工事の施工年・実施箇所名は不明）

大阪・名古屋

高山・飛騨古川・富山

指w	指	グC	kv自	BH指	指HB	v自	bMグ

-名古屋～高山-

-名古屋～富山-

（下り1号、調査列車の編成）

指w	自kv	BH指	指w	指	グC	kv自	BH指

大阪～高山

-名古屋～高山・飛騨古川-

（下り3+23号、上り14+34号）

指w	自kv	BH指	指HB	v自	bMグ

名古屋～高山

名古屋～富山

（下り5・9・13号、上り6・12・16・20号）

指w	指	グC	kv自
			BH指

名古屋～高山・飛騨古川

（下り7・11・15・17号、上り2・4・8・10・18号）

指w	自kv	BH指

-名古屋～高山-

（下り19号）

以上